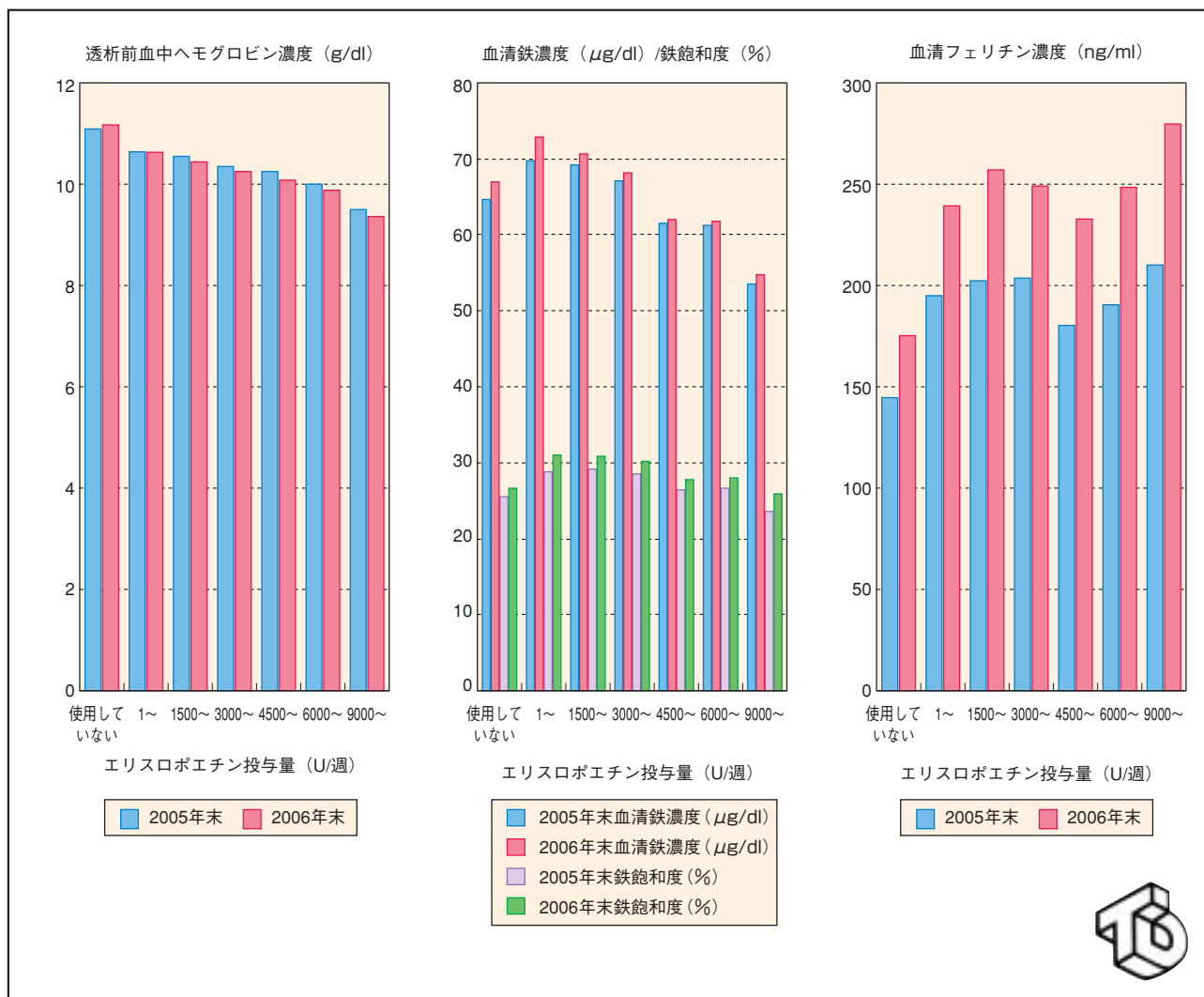


## 2) 慢性透析患者の腎性貧血治療の現状

(6) 慢性透析患者のエリスロポエチン投与量と鉄代謝指標の関係 (図表30)



エリスロポエチン投与量 (U/週)	使用していない	1~	1500~	3000~	4500~	6000~	9000~	不明
2005年末ヘモグロビン濃度 (g/dl)	11.09	10.64	10.55	10.35	10.25	10.00	9.50	10.57
2006年末ヘモグロビン濃度 (g/dl)	11.17	10.63	10.44	10.25	10.08	9.88	9.36	9.91

エリスロポエチン投与量 (U/週)	使用していない	1~	1500~	3000~	4500~	6000~	9000~	不明
2005年末血清鉄濃度 (μg/dl)	64.66	69.75	69.20	67.11	61.52	61.25	53.53	65.50
2006年末血清鉄濃度 (μg/dl)	66.97	72.87	70.65	68.16	62.02	61.79	54.76	64.30
2005年末総鉄結合能 (μg/dl)	271.11	252.15	245.81	242.49	243.21	240.46	238.65	177.56
2006年末総鉄結合能 (μg/dl)	265.38	240.97	235.88	232.86	232.00	228.84	223.74	237.80
2005年末鉄飽和度 (%)	25.53	28.82	29.17	28.53	26.44	26.66	23.59	36.58
2006年末鉄飽和度 (%)	26.65	31.01	30.85	30.18	27.78	28.01	25.91	28.60

エリスロポエチン投与量 (U/週)	使用していない	1~	1500~	3000~	4500~	6000~	9000~	不明
2005年末血清フェリチン濃度 (ng/ml)	144.64	194.98	202.33	203.65	180.32	190.48	210.12	173.40
2006年末血清フェリチン濃度 (ng/ml)	175.26	239.30	257.05	249.07	232.78	248.43	279.71	196.76

### 解説

エリスロポエチン投与量の多い患者ほどヘモグロビン濃度は低く、2005年末と2006年末で違いは認められなかった。エリスロポエチン投与量が多い患者ほど血清鉄濃度は低く鉄飽和度も同様の傾向であり、2005年末と2006年末で違いは認められなかった。エリスロポエチン投与量にかかわらず、血清フェリチン濃度は、2006年末の値が2005年末の値より高かった。そのうちエリスロポエチン投与を受けていない患者では、2006年末と2005年末で共に血清フェリチン濃度が低かった。